

令和2年度第1回芦屋市地域包括支援センター運営協議会
議事詳細について

【議事次第 議事4】

議事(1)(2)(3)を通じて

課題	地域全体で地域住民を見守る仕組みの充実
背景	高齢者の増加に伴い、相談件数が増加していく中では、地域包括支援センターをはじめとした専門機関のみでは、高齢者の在宅生活を支えることは困難であり、今後ますます地域における見守りや支え合いが必要となる。 現在も地域での見守り等は行われている一方で、地域包括支援センター等の専門機関のみが支援をしていることで、地域との関わりが途絶えてしまうケースがあることから、専門機関が関わりながらも、地域における見守りや支え合いにつないでいく仕組みを充実させたい。

議事(4)(5)を通じて

西山手	課題	地域包括支援センターの普及啓発
	背景	地域包括支援センターの普及啓発が進まない。介護予防教室等で関わっていても、介護申請を市役所直接行くなどの事例がある。課題解消のため郵便局にて定期的に相談会を行っている。(実績報告書, 事業計画 イ 総合相談支援業務)

東山手	課題	マンションでの関係性づくり
	背景	地域と顔の見える関係性作りが大きな課題である。定期巡回訪問を通じて民生員との関係性を強化している。今年度は関係性が閉鎖的になりがちなマンションでの関係性づくりが重点課題として取り組んでいる(実績報告書, 事業計画 イ 総合相談支援業務)

精道	課題	早期発見と重篤化予防
	背景	精道圏域は人口が多い地域で一般相談もそれに比例している。相談に対して対応することに追われ、アウトリーチ活動が課題となっている。課題解消に向け、「ひと声運動」を行うことで包括職員が継続して地域や個人に発信できる活動を行っている。 (実績報告書, 事業計画 イ 総合相談支援業務)

潮見	課題	介護支援専門員をはじめとする専門職や地域住民の方が相談しやすい関係性を構築
	背景	長年継続して地域のイベントに参加し地域と専門職が繋がるよう取り組んできた。今年度は「共に考える」役割を地域、専門職に周知するべく、地域課題の捉え方について整理したい。(実績報告書, 事業計画 エ 包括的継続的ケアマネジメント業務)

基幹	課題	認知症の方を支援できる仕組み構築
	背景	認知症の支援が課題である。当事者、家族がいち早く認知症相談センターに相談できるようニーズの発見やネットワーク開発に取り組んでいる。今年度は当事者の会を開催し、そこで出たニーズをもとに居場所づくりを検討する。 (実績報告書, 事業計画 イ 総合相談支援業務)